

来てけれ! 鹿角市

鹿角市産業部 部長
花海 義人

かづの牛



かづの牛(ぎゅう)は、和牛の中でも1%しか存在しない希少な日本短角種の牛です。

緑豊かな放牧地でたっぷりの牧草を食べて育ったその肉は「高たんぱく」「低カロリー」「鉄分・ミネラル豊富」であり、ヘルシーで低脂肪な赤身肉です。

アミノ酸もたっぷりで、噛めば噛むほど旨味が出てくる風味よいかづの牛をぜひ1度ご賞味ください。

大湯環状列石(大湯ストーンサークル)



大湯環状列石は2021年にユネスコ世界遺産に登録された縄文時代の特別史跡です。

大規模な日時計状組石をはじめとした環状列石の周囲からは、竪穴住居、堀立柱建物群、配石遺構などが発掘されています。また土器や土偶などの祭祀や生活に関わる石製品が多量に発掘されていることから、縄文時代の人々の暮らしや文化の風に触れられる遺跡と評されています。

大日堂舞楽



大日堂舞楽とは八幡平地区にある大日霊貴神社にて毎年1月2日に五穀豊穡・無病息災などの祈りを込めて奉納される舞楽で、2009年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

起源は養老2年(西暦718年)と言われ、日本最古の舞楽としていまなお伝承されています。例年多くの参拝客が訪れ、多くの人の耳目を惹きつけます。

花輪ばやし



鹿角の夏に響き渡る日本三大囃子の1つ「花輪ばやし」は毎年8月19・20日に行われる鹿角市花輪の屋台行事で、2016年にはユネスコ無形文化遺産として登録されています。

夏の暑さに負けじと奏でられる囃子の音色と、それぞれ意匠が異なる豪華絢爛な総漆塗り、金箔押が施された10町内・10台の屋台が駅前勢ぞろいする姿は圧巻のひと言。

この、鹿角の熱気に触れてみるのはいかがでしょう。

末広地区ほ場整備事業



鹿角市末広地区は平成25年に松山・土深井・大欠・石野の4集落で構成される農事組合法人末広ファームを設立し、地域農業の維持・発展と効率化を図るため、平成27年度にはほ場整備を行いました。

全国的に問題となっている高齢化による農業の衰退が進む中、末広ファームでは少しでも多くの方に農業に触れる機会をもつていただくため、ネギやキャベツの収穫イベントを春と秋に実施し、多くの世代から好評を博しています。鹿角の四季を収穫しに、ぜひお立ち寄りください。



「田沢疏水の歴史と今」

秋田県田沢疏水土地改良区

事務局長(兼)総務課長 佐藤 猛

秋田県田沢疏水土地改良区は、秋田県東部に位置し、奥羽山脈の裾、仙北市、大仙市、美郷町の2市1町にまたがる受益面積4,660haの穀倉地帯です。

昭和初期に食糧増産対策の一環として、地区内の集団開墾適地において土地利用計画が樹立され、開田整備が計画されました。農業用水確保を目的とした、田沢湖、玉川等を水源とする「田沢疏水左岸幹線用水路」及び「田沢疏水右岸幹線用水路」等の基幹水利施設の造成及び約2,500haの開田を行う国営開墾事業「田沢疏水地区」（昭和12年度～昭和37年度）が実施されました。

更に同事業に引き続き、太平洋戦争後の食糧増産対策として玉川を水源とする「第二田沢幹線用水路」等の造成及び約870haの開田を行う国営総合開拓パイロット事業「第二田沢地区」（昭和38年度～昭和45年度）が実施されました。

国営かんがい排水事業「田沢疏水地区」（昭和54年度～平成元年度）による基幹水利施設の更新を経て、現在、実施10年目となる国営かんがい排水事業「田沢二期地区」が実施されており、幹線・支線用水路の改修が順調に進んでいます。また、懸案であった抱返頭首工の改修も本年度よりスタートしました。工事は、非かんがい期間に行わなければならないことや工事場所が県立自然公園内といった制約が多いことから、東北農政局田沢二期農業水利事業所と綿密に連携を図りながら、令和6年度に事業が完工できるよう関係機関との事業調整に努めています。



国営開墾事業「田沢疏水地区」



抱返頭首工



抱返頭首工整備工事



田沢疏水左岸幹線用水路



井川町土地改良区

主任書記 小林 千子

この冬は、例年になくこの辺りも雪

が多く、集められて出来た雪の山を見るたび早く春が来ないかと思う日々ですが、少し落ち着きを見せたかと思つたコロナウイルスも、年明けからオミクロン株の影響で県内でも感染者が再び急増し、自宅で過ごす時間がまた増えてしまいました。そんな中、北京オリンピックが開催され、日本選手団の活躍に感動と興奮の連続で、コロナ禍で沈んだ心も明るい気持ちにさせてもらい、スポーツはやつぱり良いものだなと実感しています。



アスリートの人達を見て

いると、なぜあんなに走ったり動いたり出来るのかとよく思うのですが、高校までバスケット部に入っていた私も、当時の事を思い返せば、昔は普通に出来た事なんだよな!?と不思議な感覚になります。今では、階段を上るだけでも息切れしてしまうほどのに・・・

年々体力の衰えを恐ろしく感じながらも、私が唯一続けてやっているスポーツがスノーボードです。寒いのは嫌いですがまふまふの雪は大好きで、冬の楽しみとして毎年ゆる〜く続けています。ここ数年はコロナ禍で自粛していますが、運動不足解消のためにも、何も気にせず、気軽に滑りに行ける日常が戻ってきてくれたらいいな〜と思いつつ、この春に向かいコロナが収束していつてくれるのを願っています。



連 合 会 日 誌

2月10日	全国水土里ネット女性の会総会・研修会	本会第2会議室
2月22日	第22回写真コンクール審査委員会	本会第1会議室
2月25日	都道府県土地改良事業団体連合会等事務責任者会議	オンライン開催
3月3日	全土連理事会	オンライン開催
3月11日	第20回秋田県土地改良区統合整備検討委員会	秋田市(Web会議)
3月18日	第64回通常総会	秋田市文化会館
3月24日	全国水土里ネット第64回通常総会(表彰式は中止)	東京都
..... 今後の行事予定		
3月31日	退職者の送別式	本会第1会議室
4月1日	人事異動通知書交付	本会会長室

ちょっと知っておきたい

キーワード

IoTとは

IoTとはInternet of Things(インターネット オブ シングス)の略称で「あらゆる物のインターネット化」という意味になります。コンピューターや通信機器に限らず、多種多様な物(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、自動車、医療機器など)を無線通信でインターネットに接続しデータのやり取りや制御を可能にした技術です。

AIとは

AIとはArtificial Intelligence(アーティフィシャル・インテリジェンス)の略称で「Artificial(アーティフィシャル)」とは「人工的な」、「Intelligence(インテリジェンス)」とは「知性」という意味です。日本語では、「人工知能」とも訳されており「人間のような知能を持つコンピューター」とされ「自ら学習する」ことが大きな特徴です。AIを支える技術として重要なのが「機械学習」です。「機械学習」とは、大量のデータを何度も繰り返し学習し、データパターン(色、形、大きさなどの特徴)を見つけ出す技術です。

これまでの農業は自然環境に大きく左右され、その多くは人の経験・知識・勘が必要とされてきましたが、AIの登場により農業は大きく変わりつつあります。最近よく耳にする「スマート農業」も「ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用する農業」のことを言います。現在では、AIを活用した画像診断による病虫害被害の最小化や野菜の収穫適期を認識し、高速・高精度で収穫する技術などが研究開発され、今後ますます農業分野での活用が期待されています。



「藤原泰衡 終焉の地 錦神社」

水土里レポーター：大館市二井田真中土地改良区
庶務担当主事 齋藤 祥太

大館市二井田には、奥州藤原氏四代泰衡を祀る錦神社があります。

1189年9月3日、源頼朝に攻められ蝦夷地へ逃亡する途中、今の二井田に立ち寄り家臣河田次郎を頼ったところ、裏切られて命を落としました。

遺体は村人によって埋葬され、その場所が錦神社となり毎年9月3日に祭りが行われています。



リレー vol.28 感想文



毎号、仕事の息抜きに拝見させて頂いております。

県内で事業や行事、会員のおすすめのスポットなど多岐にわたる情報を入手する事が出来る、貴重な情報誌だと思います。

今後は、自分も情報提供やアイデアを出し、より良い広報誌を作り上げるため、協力していきたいと思っております

管理情報部 技術・調整班

大山 雄平

編集後記

段々と暖かさが増し、各地で桜の開花予想がされるなど春の訪れを感じられるようになりました。気がつけば今年度もあと少しで終わろうとしています。

春になると去年出来なかった何か新しいことに挑戦してみたいという気持ちになりますが、私は明日からやろう！と思うばかりでなかなか思うように始めることが出来ません。今年こそは自分をレベルアップさせる為、没頭できる何かを見つけて挑戦したいと思います。まずは、その第1弾として今月号の会報誌から県内ほ場整備事業が実施された地区についてご紹介しております。来年度からはまた違った「秋田の土地改良」になるよう、様々な場所に自分の足で取材に行き、現場の「生の声」をお届け出来るよう努力して参ります。

皆様におかれましては、新しい年度を迎えるにあたりお忙しい毎日かと思いますが、お身体に気をつけてお過ごしください。来年度も水土里ネット秋田をどうぞよろしくお願いいたします。

(政策・広報班 寺澤)

